

令和5年度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	児童劇
----	----	----	-----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	C区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	3企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	きぎょうくみあいげきだんかぜのこきゅうしゅう		団体ウェブサイトURL
	企業組合劇団風の子九州		<a href="https://www.kazenoko-kyushu.com">https://www.kazenoko-kyushu.com</a>
代表者職・氏名	代表理事 仮屋 祐一		
制作団体所在地	〒 814-0002	最寄り駅(バス停)	地下鉄 西新駅
	福岡県福岡市早良区西新5-5-13		
電話番号	092-841-7889		
ふりがな 公演団体名	げきだんかぜのこきゅうしゅう		団体ウェブサイトURL
	劇団風の子九州		<a href="https://www.kazenoko-kyushu.com">https://www.kazenoko-kyushu.com</a>
代表者職・氏名	代表 仮屋 祐一		
公演団体所在地	〒 814-0002	最寄り駅(バス停)	地下鉄 西新駅
	福岡県福岡市早良区西新5-5-13		
制作団体 設立年月	1993年 3月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	代表理事 仮屋 祐一 理事 浅野由美子、理事 川島二郎 理事 中寫 司、		俳優:12名、企画制作部:6名 文芸演出部:1名 【合計19名】 ★加入条件等・18歳以上の健康な人、面接・オーディション有
事務体制 (専任担当の有無)	専任の事務担当者を置く	本事業担当者名	仮屋 祐一
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	鈴木 恵美

<p>制作団体沿革</p>	<p>企業組合劇団風の子九州は、1985年東京の劇団風の子から運営独立し「劇団風の子九州班」として福岡市に創立され、その後1993年に法人独立し現在に至る。 児童・青少年演劇の制作と上演・普及活動を行っている。</p> <p>*2003年以降ほぼ毎年、文化庁委託・補助事業に採択実績あり。 *年間500ステージ以上、9万以上の子どもたちに観て頂いた実績あり。</p>			
<p>学校等における公演実績</p>	<p>劇団創立の翌年1986年より35年以上の学校公演実績あり</p> <p>【2021年度実績】 小学校公演：「このゆびと〜まれ！」 29日50ステージ 「やだ、やだあっかんべ〜！」 10日15ステージ 「風の子あそびやとつぴんしゃん」 10日15ステージ 3作品合計 49日80ステージ</p> <p>【過去実績】2020年度 小学校公演：「このゆびと〜まれ！」 9日16ステージ 「やだ、やだあっかんべ〜！」 17日26ステージ 「どんぶらこっこだんご亭」 14日23ステージ 3作品合計 40日65ステージ</p>			
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>【福岡県】福岡中央特別支援学校、南福岡特別支援学校、福岡県立特別支援学校北九州高等学園、嘉穂特別支援学校 【長崎県】鶴南特別支援学校、大村特別支援学校、川棚特別支援学校、島原特別支援学校、希望ヶ丘高校特別支援学校、諫早東特別支援学校、諫早特別支援学校 【宮崎県】みなみのかげ支援学校、赤江まつばら支援学校、清武せいりゅう特別支援学校、くろしお支援学校、児湯るびなす支援学校、みやざき中央支援学校 【沖縄県】島尻特別支援学校、宮古特別支援学校 【福島県】大笹生支援学校 【広島県】広島県立呉南特別支援学校</p> <p>ほか公演実績多数</p>			
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>		
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p><a href="https://www.youtube.com/watch?v=ojQY2e0i_iw">https://www.youtube.com/watch?v=ojQY2e0i_iw</a></p>		
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	<p>なし</p>	
		<p>PW:</p>	<p>なし</p>	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 劇団風の子九州 】

対象	小学生(低学年)	○	/
	小学生(中学年)	○	
	小学生(高学年)	○	
	中学生	-	
企画名	「あっかんべー！」は勇気の言葉(「やだ、やだあっかんべー！」公演)		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	演目: 「やだ、やだあっかんべー！」 作・演出: あさのゆみこ 音楽・効果: 曲尾友克 美術: あさのゆみこ 公演時間 75 分		
著作権、上演権利等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当あり	該当コンテンツ名
	該当事項がある場合	権利者名 音楽使用: 曲尾友克	許諾確認状況 使用(上演)許諾取付済
演目概要	【あらすじ】 山あいに住む一人暮らしのおばあちゃんの家に引っ越してきた内気な小学4年生の智(とも)。しかし智は本当は引越してきたくありませんでした。すごい田舎だし、お化けみたいなおばあちゃんはいるし…。ある日、智がおばあちゃんの家を探検しているとどこからか声が聞こえてきました。おばあちゃんの独り言かなと思っていたら…!? 実はおばあちゃんの家にはある理由で妖怪あまのじゃくのジャクが同居していました。いつしか友達になった智とジャク。そこへ、おばあちゃんの山が売られる噂が…。山にはジャクの仲間の妖怪たちが住んでいます、内気な智が、ジャクや妖怪たちを救うために勇気を振り絞って活躍する物語です。 【作品への思い】 かつて子供たちは群れて遊びを生み出し、人と人との関係も遊びの中で学び、ごく自然に身につけていったように思います。それは正に生きていく力を蓄える大切な時間。しかし今、その大切な時間を持ちにくい社会へとますます拍車が掛けられて来ているように感じます。そしてその影響は自己肯定感の低い、心の不安定な子供たちを生み出しています。 都会での生活を送ってきた「やだやだ」が口癖、何をやってもダメと思っているこの物語の主人公・智。智は物凄く田舎に引越してきて、おばあちゃんや妖怪たちとの出会い、自然の中の生活体験を通して少しずつ強い心が育まれていきます。そしてとうとう、友だちジャクの角を取り戻すために恐ろしい土蜘蛛のところへ走り出します。 私たちはこの作品を通して子供達に、子供時代を子供らしくたくましく、困難にも真正面から立ち向かっていく勇気、生きていく希望を感じてもらいたいと考えます。 * 社会保障審議会推薦児童福祉文化財(舞台芸術) * 令和1年度、2年度、3年度文化芸術による子供育成総合事業-巡回公演 採択作品		
演目選択理由	* 最近、教育現場の先生方から不登校や保健室登校の低学年化が進んでいると聞きました。思春期に入る前から自己肯定感が少なく、友だちとコミュニケーションをとりづらい子供たちが増えてきているとの事。主人公の智も同じで何事にも「やだやだ」が口癖ですが、物語が進行するにつけ友達のために勇気ある行動を取り始めます。智のようなおとなしい子供たちにはちょっとした勇気を、強い子たちにはおとなしい友だちへの共感力を学んでもらい、コミュニケーション能力の育成を図りたいと考えます。 * この事業の目的の一つ「発想力の育成」は体験や模倣から鍛えられます。この演目は、様々な役が登場しますが、4人の俳優だけで楽しいキャラクターをスピーディーに演じ分けるために様々な仕掛けが用意されています。子供達の感想文に「4人だけで劇をしていたけど10人ぐらい人がいるように思いました。」とあります。また、大道具はシンプルで、センターの二畳の平台と自在に変化する4本の柱だけです。ある時は森の中、ある時はおばあちゃんの家にと様々な場面に瞬時に変化し、子供達の想像力を刺激します。このような驚きや刺激が発想力の向上の素となり、舞台芸術への興味と、将来の芸術家の育成や芸術鑑賞能力の向上につながると考えます。		
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	* 可能であれば、二場面に出演してもらいます。(学年は主人公と同じ4年生がベスト) 場面① おばあちゃんの家引っ越してきた智がよく一人で遊びに行く森の中。三人の俳優たちが、森の中の様子をマイムで表現しますが、その中の表現(蝶、枯葉、水溜り、コスモス、トンボ)と一緒に演じてもらいます。上限3名 別添参照:場面①出演の様子 場面② エンディング。俳優たちと一緒にテーマソングを歌い、踊ってもらいます。 別添参照:場面②出演の様子		
出演者	川島二郎、岩永浩子、高山洋輝、市川すみれ (変更する場合あり)		
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 4 名 スタッフ: 0 名 合計: 4 名	運搬	積載量: 1 t 車長: 7 m 台数: 1 台

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出
	8:30	8:30~11:00		13:30~14:45	0分	15:00~17:00	17:00
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。							
本公演 実施可能日数目安  ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月		
	15日	10日	0日	10日	15日		
	11月	12月	1月	計	65日		
	5日	10日	0日				
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。							
児童・生徒の 参加可能人数	本公演			共演人数目安	4年生20人程度		
				鑑賞人数目安	~200人		

\* 体育館フロアに舞台を設置します。(舞台設置寸法：間口9m×奥行5m)

(写真1) 基本舞台は柱が4本



(写真2) おばあちゃんの部屋：仏壇もあります



(写真3) 人面樹登場



(写真4) 土蜘蛛の洞窟



(写真5) 妖怪になって歌って踊る子どもたち



公演に係るビジュアルイメージ  
(舞台の規模や演出や  
がわかる写真)

※採択決定後、採  
択団体へ図面等詳  
細の提出をお願い  
します。

【公演団体名 劇団風の子九州】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	4～20名ほど
<p>ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p><b>本公演別日での実施の場合(2時限)</b></p> <p>① 劇団の自己紹介後,リラックスするために最初にちょっとした表現ワークをします。</p> <p>② お芝居のあらすじを紙芝居仕立てで説明します。</p> <p>③ ニグループに分かれて練習。可能であれば別々の場所で。</p> <p>☆ 場面①チーム⇒選抜の3名と、劇中に登場する花や虫等の身体表現の練習をします。 ☆ 場面②チーム⇒エンディングの歌とダンスの練習をします。</p> <p><b>本公演当日での実施の場合(2時限)</b></p> <p>① 教室で、劇団の自己紹介後,リラックスするために最初にちょっとした表現ワークをします。</p> <p>② お芝居のあらすじを紙芝居仕立てで話します。</p> <p>③ リハーサルの時間が必要なため、場面②のエンディングの歌とダンスの練習をします。</p> <p>④ 設営された舞台に移動して、本番並みのリハーサルを行います。</p>		
<p>ワークショップの ねらい</p>	<p>子供たちはギャングエイジにさしかかる頃、自我の目覚めと共に他者からの目を意識し始めます。そのことにより人前に立つ、または人前でしゃべる、ましてや人前で演じるということに相当なプレッシャーを感じる子どももいます。そこで、演劇とは「ごっこ遊び」や「まねっこあそび」の延長であり、今回の舞台表現は「遊びとして楽しんで、思いっきり演じてほしい。」と伝えるためのワークを心がけます。</p> <p>事前に、実際の子どもたち出演場面のDVDや、歌ってもらうテーマソングの楽譜やCD音源を送付して、出演場面のイメージを持ってもらったり、テーマソングを聞いてもらったり練習してもらい、ワークや本番に向けてのワクワク感を醸成してもらいます。</p> <p>ワーク当日は、最後に、お互いの練習の成果を発表し合い、出演する際の慣れや観てもらった感覚を自覚してもらい、本番に向けて更なる精進を促します。</p>		
<p>その他ワークショップに 関する特記事項等</p>	<p>特別支援学校では、各子どもたちの被支援の状況を先生方と綿密に打合せを行い、表現方法の可能性を探っていきます。例としては、ベットの子どもさんに鳴り物を持ってリズムをとってもらい、車椅子の子どもさんは先生が一人ずつ付いて車椅子ダンスを披露したことがあります。</p> <p>*コロナ禍での本事業において、学校(教育委員会)側から子どもたちが舞台上で歌うことの自粛を求められたケースが数校あった。そこで、来年度の対抗策として、テーマソングの歌詞を手話で表現してもらい、本事業のねらいである共演での舞台芸術とのふれあいを保証したい。</p>		

C区分で事業を実施するに当たっての工夫

【公演団体名

劇団風の子九州

】

C区分で事業を実施するに当たっての工夫	<p>i) 離島・へき地等における公演実績</p> <p>☆平成30(2018)年度 演目「やだ、やだあっかんべ〜！」  <b>【福岡県】</b>: 離島公演          宗像市立大島学園 福岡市立志賀島小学校  <b>【長崎県小学校巡回公演】</b>: 離島公演          新上五島町立浜ノ浦小学校、今里小学校、青方小学校、上郷小学校          対馬市立久田小学校、巖原北小学校、巖原小学校、金田小学校、豆殿小学校、鶏鳴小学校、今里小学校、大船越小学校、美津島小学校、豊玉小学校、乙宮小学校、南小学校、小綱小学校、西小学校、東小学校、豊小学校、比田勝小学校、佐須奈小学校、仁田小学校          ☆平成31、令和1年(2019)年度 演目「やだ、やだあっかんべ〜！」  <b>【大分県】</b>: へき地公演 中津市立上津小学校  <b>【宮崎県】</b>: へき地公演 日之影町立八戸小学校          ☆平成31、令和1年(2019)年度 演目「このゆびと〜まれ！」  <b>【長崎県小学校巡回公演】</b>: 離島公演          五島市立福江小学校、緑丘小学校、崎山小学校、本山小学校、大浜小学校、久賀小学校、富江小学校、盈進小学校、玉ノ浦小学校、三井楽小学校、嵯峨島小学校、岐宿小学校、奈届小学校、鶴南特別支援学校五島分校          新上五島町立奈良尾小中学校          ☆令和2(2020)年度 演目「やだ、やだあっかんべ〜！」  <b>【宮崎県】</b>: へき地公演 高千穂町立田原小学校          ☆令和3(2021)年度  <b>【福岡県】</b>: 離島公演 糸島市立姫島小学校  <b>【長崎県】</b>: へき地公演 佐世保市立相浦西小学校大崎分校</p>
	<p>ii) 離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫</p> <p><b>【特殊な事情がある地域での実施にあたっての工夫】</b>          ・上記公演実績にあり、今回、併願したもう一つの演目「日記図書館」と同じ出演者4人編成で、道具の量、仕込み時間等ほぼ同じ規模なので、<b>機動力を活かす</b>という意味で問題はありませぬ。特殊な事情の場合は、スタッフを追加し、フェリーがない離島では、旅客船や漁船に積み替えて、島の港から学校までは、島民の方々の協力を得て、軽トラックやリヤカーを借りて運んだこともあります。車両を体育館に横付けできない場合は、搬入時刻を早めて対処してきました。とにかく、<b>どのような条件であれ、作品の質を落とすことなく公演やワークショップは可能</b>だと考えます。</p> <p><b>【質を保つための工夫】</b>          ・元々<b>小規模小学校に向けて創られた作品</b>ですので、小規模校、離島、どのような状況でも質を落とすことなく上演できる作品です。          ・これまでは、体育館の電量が少ない場合には、発電機を借りてもらったり、<b>照明器具</b>の数を調整したりしましたが、今回すべて<b>LEDに変えた</b>為、電量が少なくても、<b>照明の質を落とさず</b>公演出来るようになりました。</p>
	<p>iii) C区分申請における、小規模な公演の観点から実施する経費削減等についての工夫</p> <p><b>【経費削減の工夫】</b>          ・離島など運搬費・交通費が高額になる地域に関しては、<b>ワークショップと本公演を同時に開催</b>することで派遣費を削減する。          ・舞台道具とスタッフ・出演者が同じ<b>車両で移動</b>することにより、<b>旅費、運搬費の削減</b>となり、移動時間も乗り換え等のロスもなく、<b>出演者の体力的な負担も軽減</b>され公演に集中でき、<b>質の高い公演が実施可能</b>となる。</p>

リンク先	No.2	【公演団体名	劇団風の子九州 】
児童・生徒の共演、参加 又は体験の形態	<b>【児童の出演シーン】</b>		
	<p data-bbox="424 398 1450 521"> <b>場面①</b>            おばあちゃんの家に移ってきた智がよく一人で遊びに行く森の中。三人の俳優たちが、森の中の様子をマイムで表現しますが、その中の表現(蝶、枯葉、水溜り、コスモス、トンボ)と一緒に演じてもらいます。(上限3名)         </p>    <p data-bbox="424 1529 1450 1597"> <b>場面②</b>            エンディング。俳優たちと一緒にテーマソングを歌い、踊ってもらいます。(上限20名程)         </p> 		